

庁内ネットワーク改修及び各システム更新に関する情報提供依頼（RFI）実施要領

第1条（目的）

西会津町（以下「本町」という。）では、職員が使用する業務端末の更新に合わせ、庁内ネットワークの全面的な改修を計画・検討している。総務省の「自治体情報セキュリティ対策の見直し」を踏まえ、利便性とセキュリティを両立した次世代のインフラ環境を構築するため、事業者各社から技術情報、製品情報、移行計画、概算費用等の情報提供を求め、今後の情報提供依頼（以下「RFI」という。）策定及び調達計画立案の参考とすることを目的とする。

第2条（RFI の位置づけ及び留意事項）

本 RFI における位置づけ及び留意事項は次のとおりとする。

1. 本町が最適なシステム構築および調達仕様を検討するための情報収集を目的として実施するものであり、将来の契約を保証するものではない。
2. 本 RFI への参加実績や回答内容は、今後の調達手続きにおける事業者選定の条件とはならない。
3. 回答に要する費用はすべて回答者の負担とし、提供された情報は RFI 策定の参考資料としてのみ活用する。
4. なお、提出された情報の採否に関する理由の開示は行わない。
5. 提出された回答書は、情報公開請求の対象となる場合がある。
6. 企業秘密等、非開示を希望する箇所がある場合は、その旨を回答書内に明記すること。
7. 参加事業者は、本 RFI を通じて知り得た本町の情報および他社の情報を、第三者に提供・漏洩してはならない。

第3条（対象範囲）

本 RFI が対象とする範囲は以下のとおりとする。ネットワーク本体（回線契約等）は現行契約の対象外であり、本 RFI の対象範囲には含まない。各区分を一体的に提案できる場合は、その旨も併せて情報提供すること。

区分	対象内容
①ネットワーク改修	現行の三層分離 ^{※1} αモデルから次世代モデル（β・β'モデル等）への移行、クラウド化対応、ゼロトラストセキュリティの導入、Google Workspace ^{※2} 利用を想定したローカルブレイクアウト環境 ^{※3} の構築等
②Google Workspace 導入・連携	サイボウズ Garoon ^{※4} 、パプテック AI 行政 ^{※5} 、kintone ^{※6} 、ロゴチャット ^{※7} 等の既存ツール更新に伴う Google Workspace の導入、メーラー、スケジュール、チャット、生成 AI、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェア等の高度化、LGWAN 系とインターネット系を跨ぐシームレスな利用環境の構築

③ セキュリティ・認証基盤	多要素認証 ^{※8} （MFA）およびシングルサインオン ^{※9} （SSO）の導入、テレワークや庁外からのアクセス制限・管理、端末の強固なエンドポイント対策 ^{※10} （EDR ^{※11} 、SWG ^{※12} 、ZTNA ^{※13} 等）
④ 業務端末の更新	Chromebook ^{※14} の導入を前提としたシステム構築、L2WAN 系ネットワークへの VDI 接続、Windows 依存システムに対する代替案または Windows 端末の導入、運用・構成提案、Microsoft Office から Google ソリューションへの移行・教育支援
⑤業務端末の Wi-Fi 接続環境の構築	新たに導入する業務端末を接続・利用するための Wi-Fi（無線 LAN）環境の本庁舎および出先機関への構築（アクセスポイントの配置設計、電波干渉対策、認証セキュリティ設定等）
⑥ 移行計画・スケジュール	令和 9 年 10 月の既存グループウェア等契約終了、および令和 9 年度末（令和 10 年 3 月末）のネットワーク改修完了に向けた全体マイルストーン、業務への影響（ネットワーク中断等）を最小限に抑える工夫
⑦ 運用保守・サポート体制	24 時間 365 日のサポート体制の有無、障害発生時の一次対応およびエスカレーションフロー

第 4 条（実施スケジュール）

本 RFI は、以下のスケジュールで実施する。

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. RFI 公開・送付 | 令和 8 年 7 月 17 日（金） |
| 2. 参加表明書提出期限 | 令和 8 年 7 月 31 日（金） 17 時 00 分 |
| 3. NDA（秘密保持契約）締結 | 8 月 12 日（水）までの間に締結 |
| 4. 現行構成概要図・参考資料等送付 | NDA 締結後に個別配布 |
| 5. 質問受付期限 | 令和 8 年 8 月 21 日（金） 17 時 00 分 |
| 6. 質問に対する回答 | 令和 8 年 8 月 25 日（火） |
| 7. 回答書提出期限 | 令和 8 年 9 月 9 日（水） 17 時 00 分 |
| 8. ヒアリングの実施（必要に応じ） | 令和 8 年 9 月 24 日（木）から 10 月 7 日（水） |

第 5 条（参加資格）

本 RFI への参加を希望する事業者は、次の各号に掲げる要件をすべて満たしている必要がある。

1. ネットワーク機器の販売、構築、保守の実績を有すること。
2. 地方公共団体への情報システム導入・改修実績を有すること。
3. 情報セキュリティに関する適切な管理体制を有すること（ISO/IEC 27001^{※15}等の取得が望ましい）。
4. 秘密保持契約（NDA）を締結できること。
5. 反社会的勢力に該当せず、またはこれと一切の関係がないこと。
6. 破産、民事再生、会社更生手続き中でないこと。

第6条（参加表明の方法）

参加を希望する事業者は、第4条に定める提出期限までに、町公式ホームページより本町が指定する入力フォームに必要事項を入力する方法により参加表明を行うものとする。参加表明を確認後、本町から秘密保持契約（NDA）書式を電子メールにて送付する。その書式に、署名・押印のうえ、電子メールにて返送すること。NDA 締結確認後、詳細な参考資料（現行構成概要図等）を個別に提供する。

第7条（回答書の提出方法）

1. 回答書の提出は、次の手順に従って行うものとする。
2. 提出方法は、電子メール（パスワード付き ZIP ファイル）とする。
3. 提出先のメールアドレスは、NDA 締結後に個別に通知する。
4. メールの件名は「【RFI 回答書】〔貴社名〕」とし、パスワードは別メールにて送付すること。
5. ファイル形式は、Microsoft Word、Excel、PowerPoint、または PDF とする。
6. 提出期限は、第4条に定める期日まで必着とする。

第8条（提出書類）

回答の際は、次の書類を提出すること。

1. 回答書（任意様式）
2. システム推奨構成図（任意）
3. 概算見積書（初期導入費用、ライセンス費用、運用保守費用を5年間のライフサイクルで算出したもの）
4. その他製品カタログ、移行事例等の参考資料（任意）

第9条（秘密保持）

本 RFI に関して本町から提供する現行構成概要図等の情報は、極めて重要な機密情報である。参加事業者は、本情報にアクセスする前に必ず NDA を締結し、これを第三者に開示してはならない。また、提供された情報は本 RFI の回答作成以外の目的に使用してはならない。

第10条（その他注意事項）

本 RFI への参加にあたっては、次の事項に注意すること。

1. 回答はすべて日本語で記述すること。
2. 提案内容に第三者の知的財産権が含まれる場合は、あらかじめ必要な使用許諾を得てから提出すること。
3. 本 RFI の内容は、情勢の変化等に伴い、予告なく変更または中止することがある。
4. 提出されたすべての資料は返却しない。
5. 第3条に定める対象区分について、部分的または複数にまたがる回答も可能である。

第11条（問い合わせ先）

本 RFI に関するお問い合わせは、電子メールに限り受け付けるものとする。

1. メール の 件名 は 必ず 「【RFI 問 い 合 わ せ】 【貴社名】」 と する こと。
2. 質 問 へ の 回 答 は、NDA を 締 結 し た す べ て の 参 加 事 業 者 へ 電 子 メ ー ル に て 一 斉 に 共 有 す る。
3. 問 い 合 わ せ 窓 口： 西 会 津 町 総 務 課 メ ー ル ア ド レ ス : soumu@town.nishiaizu.fukushima.jp

【※用語解説等】

- 1 三層分離 … 自治体が情報漏洩を防ぐために国が定めたネットワークセキュリティ対策。
- 2 GoogleWorkSpace … Google 社が提供しているビジネス向けクラウドサービス、メール、ドライブ、ドキュメントなど仕事に必要なツールが1つに統合されている。
- 3 ローカルブレイクアウト … 各拠点のネットワークからデータセンターや VPN を経由せずに直接インターネットへ接続する通信方式。
- 4 サイボウズ Garoon … サイボウズ社が提供するグループウェア。
- 5 パブテック AI 行政 … パブリックテクノロジーズ社が提供する自治体業務に特化した SaaS 型生成 AI サービス。
- 6 Kintone … サイボウズ社が提供するクラウド型業務アプリ作成ツール
- 7 ログチャット … トラストバンク社が提供する自治体向けクラウド型ビジネスチャットツール。
- 8 多要素認証(MFA) … パスワードなどの「知識情報」、スマートフォン「所持情報」、指紋などの「生体情報」の3つの認証要素から異なる2つ以上を組み合わせる本人確認を行う仕組み。
- 9 シングルサインオン(SSO) … 1度のログイン操作だけで複数の独立したシステムや Web サービスにアクセスできる仕組み。
- 10 エンドポイント対策 … パソコンやスマートフォンなどのネットワークの末端にあり、端末のサイバーセキュリティやマルウェア感染から保護する対策。
- 11 EDR … 端末の常時監視
- 12 SWG … 企業等のネットワークを保護するための機能「プロキシ型セキュリティ」
- 13 ZTNA … ゼロトラストネットワークアクセス、ユーザーやデバイスごとに細かくアクセス権限を設定する仕組み。
- 14 Chromebook … Google 社の ChromeOS を搭載したセキュリティが強固なパソコン端末。
- 15 ISO/IEC27001 … サイバー攻撃や情報漏洩などの対策や管理基準